

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100484		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム長野上松		
所在地	長野県長野市上松5-1-4		
自己評価作成日	令和 6年 3月 6日	評価結果市町村受理日	令和 6年 4月 24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JijyosyoCd=2090100484-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 6年 3月 19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の「安心」と「尊厳」のある生活を実現するために、ご利用者お一人お一人に適した介護計画を作成し、専門的な認知症ケア及びそれぞれの立場に立った生活援助サービスを提供します。また、ご家族や地域の方々との連携または協力体制の充実を図るため、これらの方々とも好ましい関係を築くとともに、それらの方々にとっても有用な存在となれるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市上松の住宅街に2階建ての当ホームがあり、開設より12年目を迎えている。昨年5月以降の新型コロナ5類移行を踏まえ、随時、区長や運営推進委員と連絡を取り合っており、情報共有に努めている。また、地域の神楽や子どもたちの神輿が来訪して利用者を楽しませており、利用者もねぎらいのお菓子などを渡している。ボランティアの来訪も一部再開されており、フラダンス、日本舞踊などの地域の人々が来訪し、利用者も喜んでおり、当ホームとして、法人の理念を基にホームの目標を毎年定め、日夜利用者の生活支援に努めている。また、法人としてマニュアルが整備され、それを基に拘束のない支援に取り組んでいる。3ヶ月に1回、ホーム長、ユニットリーダー、ケアマネジャーで構成する虐待・身体拘束防止委員会を開催し、自己チェックシートを基にケアの振り返りとフィードバックを行い、2ヶ月に1回、高齢者虐待や身体拘束に関する研修を実施することにより職員の人権意識を高めている。また、現在2ユニット合わせて入居仕立ての数名の利用者が転倒防止のためセンサーマットを使用しているが、ホームに馴染み安全性が確認された時には使用の妥当性を評価し外す方向で検討しており、概ね、3ヶ月ほどでセンサーマットを外すことができている。更に、重度化した場合の指針が整備され、食事が摂れなくなり、看取り期に入った時には家族と医師、訪問看護師、ホーム職員でカンファレンスを実施し、それを基に支援を行っている。また、看取り期に入る際には訪問看護師による研修も行い、職員のスキルアップや不安軽減にも努めている。開設より十数名の方を看取り、現在も看取りケアを行っている。地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでおり、ターミナルケアの質の高さが窺えた。ホームでは殊更、行事などを取り上げることなく、「ふつうの暮らし」を大切に身体機能の維持・向上のために専門職からの指導や助言を受けて多様化する利用者ニーズに応じている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目: 11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		